

2020(令和2)年度 授履修系統図 社会福祉科 介護福祉専攻

1. 倫理的自覚と自己覚知 : 高い倫理性と社会的使命を自覚するとともに、自己を客観視した上で、利用者本位の尊厳と自立を支える介護を実践できる。
2. 信頼関係を形成するコミュニケーションの実践力 : 受容・共感的態度を基盤に、利用者の状況に応じたコミュニケーションを図り、相互理解を深め、信頼関係を形成する能力が身につく。
3. 利用者理解と根拠に基づく介護過程の展開 : さまざまな背景を持つ利用者の全体像を捉え、個別の介護ニーズを把握するとともに、介護福祉に関連する基本的知識と生活支援技術を身につけた上で、介護過程を展開できる。
4. 多職種協働によるチームケアの必要性の理解 : 介護福祉に関連する他職種の役割を理解・尊重しチームとして協働する必要性を理解できる。
5. 地域における介護福祉専門職の役割認識 : 幅広く福祉・保健・医療に対する理解や見識を持ち、地域の福祉的課題解決や地域共生社会における介護福祉専門職の役割を理解することができる。
6. 介護福祉に関する研究の態度 : 感性を磨き、教養を身につけるとともに、研究的視点で介護の専門性や自己の介護観を探究し続ける。
7. 的確な記録・記述 : 介護実践における情報の共有化の意義を理解し、情報を適切にまとめ、報告することができる。

[illegible]

2020(令和2)年度 授履修系統図 社会福祉科 介護福祉専攻

1. 倫理的自覚と自己覚知 : 高い倫理性と社会的使命を自覚するとともに、自己を客観視した上で、利用者本位の尊厳と自立を支える介護を実践できる。
2. 信頼関係を形成するコミュニケーションの実践力 : 受容・共感的態度を基盤に、利用者の状況に応じたコミュニケーションを図り、相互理解を深め、信頼関係を形成する能力が身につく。
3. 利用者理解と根拠に基づく介護過程の展開 : さまざまな背景を持つ利用者の全体像を捉え、個別の介護ニーズを把握するとともに、介護福祉に関連する基本的知識と生活支援技術を身につけた上で、介護過程を展開できる。
4. 多職種協働によるチームケアの必要性の理解 : 介護福祉に関連する他職種の役割を理解・尊重しチームとして協働する必要性を理解できる。
5. 地域における介護福祉専門職の役割認識 : 幅広く福祉・保健・医療に対する理解や見識を持ち、地域の福祉的課題解決や地域共生社会における介護福祉専門職の役割を理解することができる。
6. 介護福祉に関する研究的態度 : 感性を磨き、教養を身につけるとともに、研究的視点で介護の専門性や自己の介護観を探究し続ける。
7. 的確な記録・記述 : 介護実践における情報の共有化の意義を理解し、情報を適切にまとめ、報告することができる。

[illegible]